

毎日を安全に過ごすために ～普段から、気を付けておきたいこと～

1 知らない人から声をかけられたら…

友達と一緒にいても絶対に安全とは限らないことを確認してください。相手も複数で声をかけてきて、途中から別々に行動するなど、様々な危険に巻き込まれる可能性もあります。ひとりだと「いざ」というときに助けを呼ぶこともできません。最悪を常に意識して行動できるよう指導してください。また、様々な状況における対応の方法について話し合いを深めてください。

Q：友達と待ち合わせをしている時に、知らない人に声をかけられました。あなたの名前も知っている人でした。無視をしてもしつこく「遊びに行こう」と誘われました。

①あなたはどのようにして誘いを断りますか？

〈例〉「約束しているので行けません。」無視をする。

②それでもしつこく声をかけてきます。どうしたらいいのでしょうか？

〈例〉走ってその場から人の多い方へ離れる。近くの大人に助けを求める。

子供を誘う手口

- ・子供の好きなもの、興味を持つもので誘う（アイドルのチケット・ゲーム・テレビインタビュー・お金 など）
- ・助けを求める、緊急事態を装う（道を尋ねる・「家族が病院に運ばれたから車に乗って」など）
- ・親切を装う（「寒いから送ってあげる」「一緒に〇〇へ行こう」 など）
- ・不安や恐怖を覚える行為を伴う（「かわいいね」とカメラで撮影、「ゴミがついてる」と言ってスカートをめくる など）

2 外出するときに…

外出時の約束について、ご家族でよく話し合い、子供が黙って出かけることのないように十分指導してください。ご家族の実情に応じた連絡方法を確認しておいてください。どうしても連絡がつかない場合は、メモで「誰と どこに 何をしに 帰宅時刻」を伝えるなど、事前に約束しておくことが大切です。

Q：友達との約束で、外出しようとしたのですが、家には誰もいません。

①外出する前に、どのような注意点がありますか？

〈例〉家の戸締り。（家に誰もいなくても）「行ってきます」と声をかける。

②家の人にメモで外出を伝えようと思います。どのようなことを書いておくとういでしょうか？

〈例〉誰と・どこに・何をしに・何時に帰る・連絡方法 など

3 車の中から声をかけられたら…

いわゆる声かけ事案です。声かけ事案は年々増加傾向にあります。また、車に連れ込まれそうになる事案も発生しています。道を聞かれるなどがあっても、絶対に車に近づくことのないように注意することが大切です。逃げる時には、車の進行方向と反対に逃げることを確認してください。

Q：あなたが一人で歩いていると、知らない人が車の中から「（あなたの）中学校への道を教えて」と声をかけてきました。見たところ優しい人です。「車に乗って一緒に案内してほしい」と言われました。

①まずあなたがとった方がよい行動は何ですか？

〈例〉車の中に引きこまれない様に、できるだけ車から離れる。

②しつこく声をかけてきた場合、どのようにして逃げたいと思いますか？

〈例〉車の進行方向と逆方向へ走って逃げる。

4 帰宅が遅くなったら…

遅い時間になればなるほど、気をつけていても被害に遭うことがあります。帰宅が遅くなったら必ず自宅（保護者）に連絡するという点を約束してください。また、危険な場面に遭遇した場合の行動の仕方について、普段から話題にし、考えさせることが危険回避能力を高めることにもつながります。

Q：帰宅が予定よりも遅くなりました。帰り道、近道をすれば早く帰れますが、暗く人通りの少ない場所があります。

①危険な場面に遭遇しないためにどのような注意が必要ですか？

〈例〉少しでも明るく、人通りの多い道を選ぶ。帰り道で一人になったら足早に歩く。

5 携帯電話・スマホに連絡が入ったら…

無料通話アプリを利用した、様々な犯罪やトラブルが増加しています。断ってもストーカー被害に遭うこともあります。ご家庭で携帯電話・スマホの使い方について普段から話題にし、正しいルールとモラルが身に付けられるようにすることが必要です。

Q：無料通話アプリなどのやりとりで知り合った人の求めに応じて、気軽に自分の顔写真など個人情報を送ってしまいました。その後、その相手から「直接会いませんか？」というメッセージが届きました。

①顔写真や個人情報を送る危険性とは何でしょうか？

〈例〉知らない人（不審者）に、自分のことを知らせることで、危険が増える。（個人の特定、ネット上での情報の拡散など）

②「会いませんか？」のメッセージに、何と答えるとよいでしょうか？

〈例〉返信しない。着信拒否をする。アドレス等を変える。

※解答の〈例〉だけが答えではありません。お子様と話し合い、各ご家庭での約束事等をご確認ください。

こんなこと、知っていますか？ ～資料を参考に、お子様とお話をしてください～

●神戸市内 未成年者に対する声かけ事案（令和5年1月1日から令和5年12月31日までの間）

【発生状況】

認知件数 568件

【特徴的傾向】

- ・声かけ、つきまとい、不審者が約8割を占めています。
- ・わいせつ事案（公然わいせつ、性的な撮影）も起きています。

※認知件数等の数字については、兵庫県警察本部生活安全部生活安全特別捜査隊が独自に集計したものです。

※令和4年以前とは、統計方法が異なるため、増減件数は表示していません。



★「いざ」という時のことを想定して、防犯の視点から地域の「こども110番 青少年を守る店・守る家」を確認しておいてください。

◇お子様と共に、ご自宅付近、学校からの途中にある「こども110番 青少年を守る店・守る家」を確認・把握し、防犯の意識を高めるようにしてください。

◇お子様や保護者の方が、近所の方や地域で活動されている方々と「知り合い」「顔見知り」になることが、子供の安全を守ることにつながります。

◇声かけ事案が発生した場所、被害にあいやすい場所など、学校や地域から必要な情報を得るようにしてください。また、外出時など、地域を歩いて実際に確認をしてください。

★「いかのおすし」に代表される防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための注意事項や不審な声かけからの対処方法を、子供になじみやすい形でまとめたものです。子供が標語を覚えることにより、子供自身に「自分のことは自分で守る」ことを認識させ、防犯意識を高める必要があります。

① かない ② らない ③ お声で助けをよぶ ④ ぐににげる ⑤ らせる

「いかのおすし」の「い」「か」は「ついていかない」「どんな時？→下校時」「誰に？→知らない人に」など、日常の行動の中にあてはめながら覚えることが大切です。他にも「いいゆだな」などの標語もあります。

★「いいゆだな」

- ① えのかぎを見せない・・・ひもでぶら下げたカギをカバンの横などから見えるようにしない
- ② えのまわりをよく見る・・・不審者がついてきていないか、確かめる
- ③ うびんポストをチェック・・・郵便受けに新聞などがたまっていると留守がちだと思われる
- ④ たれもいなくても「ただいま」・・・不審者に、家に誰かいると思わせる
- ⑤ かに入ったらすぐにとじまり・・・鍵を開けた時に不審者に入られないよう気を付ける



★エレベーターを利用する場合

- ・エレベーターホールなどに見かけない人がいないか周囲を確認
- ・不審者を発見した時は、管理人や大人の人に知らせる
- ・エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る
- ・後ろから襲われないように、壁を背にして乗る
- ・知らない人と二人だけで乗ったときは、一番近くの階でエレベーターを降りる

★名札・持ち物の記名について

個人の持ち物（カバン・かさなど）に名前を書く際、誰からも見える場所に名前を書くことは、校外では不審者に名前を知らせることにもなる場合があります。

ご家庭で「防犯」について話し合ったことを「防犯チェックシート」にご記入いただき、お子様と確認してください。

ご記入いただいた防犯チェックシートは、学校へご提出願います。

